

どつて島田、後に結婚して巖本と変わつていきます。

しかし、彼女が自分で名づけた名前は『若松賤子』——これが後にまで残つ

ていく名前です。戦いに敗れた会津の土地は、明治になつて若松県になります。
(後に福島県になります。『若松』は、その生まれ故郷の名からつけたのでし
う。

また、『賤子』は、キリスト教の神のしもべの意味からつけたといわれていま
す。または貧しい民の子、名もない子の意味とも考えられます。会津の貧しい
武士の子として生まれ、新しい西洋文明の横浜でキリスト教の学校で育ちなが
ら、なお、日本の古い伝統から離れることなく、会津武士の子としての誇りを
捨てず『賤子』の名を選んだのではないかとも思われます。